

# 平成20年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ニセナシサビダニ（No.1）

平成20年5月16日

鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

ニセナシサビダニの発生は認められず、平年と比べて遅れている。

## 2. 情報の根拠

- (1) 5月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの1葉当たり虫数は0頭（平年：40.0頭）で、発生時期は平年と比べて遅れている（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報によると、発生盛期（表2）は平年並～やや遅い6月中旬以降と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場）

月・旬	本年	平年
5・上	0	0.3
5・中	0	40.0
5・下		165.0
6・上		792.7
6・中		940.1
6・下		1,025.5

表2 ニセナシサビダニの発生盛期

月・旬	回数*
6・上	3
6・中	6
6・下	3
7・上	6

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉当たり寄生成幼虫数

\*平成6～19年調査：殺ダニ剤無散布園で、発生密度がピークとなった時期の回数。発生活長は単峰型、双峰型があり、回数は一致しない。

## 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 第1回目の防除は、発生初期の5月末～6月初め頃を目安に実施する。薬剤はコテツフロアブル3,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。  
なお、園内でクワオオハダニも発生している場合は、コテツフロアブルに替えてダニトフロアブル1,500倍液などを散布する。
- (2) 第2回目の防除時期は、発生盛期の6月中旬以降と見込まれるが、今後の情報を参考にする。